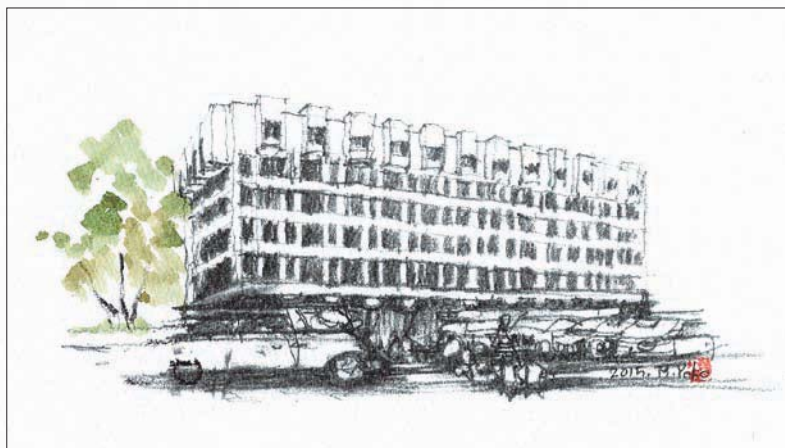


(2015-16年度 国際ロータリー・テーマ)



水戸市庁舎 (水戸市)

骨折に貰ったこと

中村 昭彦 (書籍教材販売)

年の瀬を迎え、一年を振り返る。私にとっての今年一番の事件は「水戸ロータリークラブ入会」にも劣らぬ「右手首骨折」である。正月気分もやっと抜けかけた1月25日自宅の廊下で猫のための鉄柵に倒れこんでしまい、右手首の関節を粉碎してしまった。ちょっと前の正月に建てた様々な計画はひと月も持たずに断念、水戸マラソン10km 1時間切、バタフライ50m、ゴルフ100切、薄茶卒業、家の片付け、還暦を迎えるに因み始めた10年日記など、とてもやり切れないほどの無謀な豊富な抱負はあっという間に崩落していった。元々几帳面でも勤勉でもない私は、心の奥ではほっとしていたのかもしれない。その証拠に完治した今でも再挑戦しなければと思いつつもなかなか腰が上がらない。半年も休むとなまけ癖がついてしまい、特に運動系は暑いだの寒いだの雨だのと億劫になる。食べる量を減らしても体重は増えてしまう、たぶん筋肉も減っているのだろう。

右手が利き腕のためしばらくはいろいろと苦労した。箸は左手で何とかあったが、ペンは全くだめだった。PCもギプスで固定されていたので、左手だけである。着替

えにも時間が掛かるし、運転もままならない。トイレで尻を拭くのも右手だったことに気付いた。時間に余裕を持って出かけるようになり、メモも取れないので人の話も良くきくようになった。家族や周囲も一段と優しく接してくれ、素直に甘えることにした。

白い三角巾はとても大げさに見えるので、アマゾンでアームハンガーなるメッシュ地のグッズを見つけ、使っていたのだが、それでもかなり目立つ。この時期は会合が多く、とても多くの人にこの哀れな姿を披露することになった。何年も挨拶程度だった人が「どうなさったのですか？」と押し寄せてくる。何百回もいきさつや今の苦勞を語ると一段と親しくなった気がした。まさに骨折外交である。

また、左手だけでも何とかなるスマホは重宝した。何年か前に登録しただけになっていたfacebookも週に何度も投稿し、友達も400人近くになった。この年になっても人と繋がることの楽しさも味わうことができた。

骨折には苦痛と不便だけではなく、潤いも貰ったようである。

さて、そろそろ新しい年の抱負を考えねば。

No. 21 2015・12・15

1951年3月6日設立
1951年3月15日RI認証

水戸ロータリークラブ

■例会日
毎週火曜日・12時30分
常陽銀行本店8階

■事務所

■会長 八文字典昭 ■幹事 田中 邦彦

〒310-0021 水戸市南町2丁目5番5号 常陽銀行本店 別館5階
TEL.029(231)2151(代表) 直通(225)4820 FAX.029(225)4825
E-mail r.i.mito@sage.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.mito-rc.jp/>



例会にお招きいただき有り難うございます。今日は、水戸が将来、目指していく姿について、地方創生と中核市への移行の視点からお話しさせていただきます。

まず地方創生とは、それぞれの地域が特徴を活かし、魅力あふれる

地方のあり方を築くことと云われます。その主な柱として、東京一極集中の解消、地方人口の減少の抑制などが挙げられますが、何を重点に戦略を立案するかは地方に委ねられています。云いかえれば、地域が理想とする姿に向かい、それぞれの特色を生かし独自性のある「まちづくり」を迫られているのです。

一時期、「消滅可能性都市」という言葉が地方に衝撃を与えました。その対象となった896市町村に勿論、水戸市は含まれませんが、水戸市でも人口の減少は既に始まっています。これから、年少、生産年齢人口は減少し、65歳以上の老年人口が増えていくと推計されています。

この少子化問題については、働きながら育児が出来る子育て支援事業や待機児童問題の解消など福祉の見地からの取り組みが注目されています。しかし、経済的見地からの支援も重要ではないかと考えております。例えば、非正規社員では雇用が保証されず生活が安定しない場合や、正社員であっても収入に不安があれば、子どもを多く望めないのではないのでしょうか。

将来的に人口減少が避けられない中、水戸市では「しごと」「ひと」「まち」この3つの創生を重点として、水戸ならではの個性と魅力を持った「まちづくり」に向けた施策を目指しています。

水戸市内の総生産額は1兆3千億円と推定されますが、その比率は、第1次産業が0.5%、第2次が8.9%、そして第3次産業は89.9%となります。比率の高い第3次産業が目立ちますが、あらゆる分野の産業について、地域の特色を生かした振興、持続的な発展を推進するとともに、幅広い分野における企業や事業所の誘致に取り組みながら、「しごと」、いわゆる雇用の創出を図らなければなりません。

「ひと」の創生では、地域の活性化を担う人材の育成や、雇用の創出による若い世代の定住化を図ります。定住化には2万戸を超える水戸

市内の空家の活用も有効な手段であります。子育てや教育環境の整備も進めて参ります。

そして、「しごと」と「ひと」の好循環を生み出しても、その好循環を支える「まちづくり」が不可欠となります。人口減少社会に対応できる水戸市の特性を踏まえたコンパクトシティの実現に向け、都市中枢機能の集積や交通ネットワークを構築し、街の活性化を図らねばなりません。

これまで地方創生についてお話してきましたが、現行の行政の枠組みの中で独自性のある「まちづくり」を進めていくには限界があるのも事実です。そこで注目されているのが中核市移行による効果であります。今年4月に中核市移行の要件が20万人に緩和され水戸市も人口要件を備えました。中核市になるとそれまで県で行っていた、概ね1600事務が移管され、市が一貫して処理することにより、事務の迅速化や窓口の一元化など市民サービスの格段の向上が図られます。また、様々な事務に係わる基準を市が独自に設定できるようになり、地域特色を生かした細やかな行政サービスの提供や、さらに地域の特色を生かした独創的なサービスの創出にも繋がっていきます。中核市への移行は、「まちづくり」の枠を広げていく大きな可能性を秘めているのです。

例えば、何処かのイベントで食中毒などのトラブルがあると、その地域全体での同様のイベントに対し、保健所は基本的にその開催に否定的になります。しかし、保健所事務が水戸市に移譲されれば、市独自の対策を講じることにより、水戸市内での開催は可能にすることが出来ます。先日、県内でも餅つき大会が原因とみられる食中毒があり、その後、餅つきの自粛が求められているようですが、伝統的な行事は何とか継続していきたいものです。

保健所に係る統計資料、ビッグデータの活用も魅力的です。蓄えてきた様々な実績や傾向、例えば飲食店の出店や閉店データを地域ごとに纏めれば、どの地域でどのような飲食業が適しているのか把握できます。広く市民に、様々なデータを公開して、商売やNPO活動に生かしてもらうことが出来るのです。

急ぎ足でのご説明となりましたが、これからも県都として、水戸都市圏のリーダーとして、独自性のある「まちづくり」を進めて参りますので、水戸R Cの皆様にも変わらぬご指導ご協力をお願いして、卓話とさせていただきます。

◇ ビジター紹介

佐藤(規)委員

水戸南R C……1名

◇ ゲスト紹介

水戸市長 高橋 靖氏

◇ 創立65周年記念事業(千波湖ビオトープ造成)目録贈呈



八文字会長より、水戸市長高橋 靖氏へ創立65周年記念事業の目録が贈呈されました。

◇ 感謝状伝達



R.I.より2014～2015年度「End Polio Now : 歴史に1ページを刻もう」キャンペーンの感謝状が届きました。

◇ 会長の時間

八文字会長

早いもので来週、上半期が終わります。これまで皆様には例会への出席に協力頂いておりますが、残念ながら11月の出席率は77.56%であ

りました。更なるご協力をお願いします。

3年ぶりに高橋市長にお出で頂きました。中核市への移行についてお話しいただきますが、都市の魅力度を上げて、水戸もそこに住んでみたいと思うような街を目指してもらいたいと思います。本日は宜しくお願い致します。

◇ 出席報告

中山委員長

会 員 数	出 席 数	欠席数	本日の出席率
119名	74名	45名	65.49%

前 週訂正出席率 80.00%

前々週訂正出席率 76.52%

◇ 会員メイクアップ

12/12 青少年奉仕委員会 但野 友久

12/13 社会奉仕・ロータリー財団合同研修セミナー

北島 重司、豊崎 一彦

12/14 水戸さくらR C 石井 登

12/14 東京米山R E C 2750 秋山 現信

◇ にこにこBOX

江幡委員長

八文字会員……高橋市長の卓話、久しぶりですが期待をしています。

高沢会員……久しぶりの水戸市長の卓話楽しみにしております。プログラム委員長高沢。

櫻場会員……市長さんいつも千波湖浄化事業にご協力ありがとうございます。

加茂会員……紅白歌合戦のあと、15年振りです。茨城県のお寺から「ゆく年くる年」を生放送します。

三原会員……今年も残りわずかとなりましたが、気を抜かずにがんばります。

本日の合計	5件	25,000円
-------	----	---------

◇ 財団BOX

鈴木 尚会員……財団の友献金

(第1回) \$100 12,000円

(累計 \$1,100)

和田幾久郎会員……財団の友献金
 (第6回) \$100 12,000円
 (累計 \$600)

神尾圭太郎会員……財団の友献金
 (第4回) \$100 12,000円
 (累計 \$400)

山口 政美会員……財団の友献金
 (第2回) \$100 12,000円
 (累計 \$200)

この計	4件	48,000円
-----	----	---------

◇ 米山BOX

長野 久嗣会員……米山功労者献金
 (第9回) 10,000円
 (累計 190,000円)

川崎 洋会員……米山功労者献金
 (第8回) 10,000円
 (累計 180,000円)

谷川 好一会員……準米山功労者献金
 (第8回) 10,000円
 (累計 80,000円)

この計	3件	30,000円
-----	----	---------

◇ 幹事報告

田中幹事

- 水戸ローターアクト例会のご案内
 1月13日(水) 19:00
 於 富士ゼロックス茨城 会議室
 1月24日(日) 13:30
 於 真壁伝承会館
 (全国研修会準備委員会)
 * 1月の例会に参加される会員の方は、荻原
 RA委員長にご連絡ください。

- 本日、平成28年1月19日(火)の新年家族会
 のご案内を、会員のBOXに配付致しました。
 ご出欠を親睦活動委員会または、事務局まで
 お願いいたします。

会員の広場

健康について

豊崎 一彦 (建設機械関係)

若い頃は健康について気にしたことなどありませんでした。社会人になりたての頃、上司(=おそらく今の自分と同じ年回り)数人と食事をともにした時、彼らの話題といえば、健康や病気のことばかり。やれ血圧が高いだの血糖値がどうで薬は何だ…云々。そんな話を聞きながら、「そんな話しかできないのか。自分はいっと年をとったら、話題の豊富な上司になろう」と固く心に誓ったものでした。

そして月日は流れ、自分も当時の上司と同じ世代になりました。若い頃には意味のわからなかった「肩こり」「胃もたれ」「小さい文字が見えない」「加齢臭」…等全て思い当たるのです。そして不思議なことに同世代が集まると、自然と話題は健康と病気に集中してしまいます。話題豊富な上司はどこへやら…そしてそんな我々中高年を冷ややかに見つめる若い部下の顔…「お前たちもいずれこうなるんだ」と心の中で思いながら、食後に生活習慣病の薬を服用するのでありました。



週報担当 成田 浩明 委員長

例会予告

2015年
 12月22日(火)
 卓話「楽しい自転車ライフ」
 後藤 直樹 会員

12月29日(火)
 一定款第6条第1節により休会—

2016年
 1月5日(火)
 一定款第6条第1節により休会—

1月12日(火)
 卓話「イニシエーションスピーチ」
 三原 秀治 様

…… 例会欠席の方は、4日前までに事務局までご連絡下さい。……